

Ja-Net

April 2019 No. 89

季刊ジャネット

Ja-Net は Japanese Network の略です。「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

スリーイーネットワーク

Contents 目次

2019年4月25日発行

- View from the Other Side 3
ビェッピョーアウンさん(ミャンマー)
- あちこち日本語ご紹介〈国内編〉..... 4
滋賀県 彦根市
- あちこち日本語ご紹介〈海外編〉..... 5
ミャンマー ヤンゴン
- 教材紹介 6
『中学生のにほんご 学校生活編 —外国につながるのある生徒のための日本語—』
『改訂版 分野別カタカナ語彙トレーニング』
『新完全マスター単語 日本語能力試験』確認テストと学習コンテンツのご案内
- なんでも情報 BOX 8

巻頭
寄稿

「アジア最後のフロンティア」と呼ばれるミャンマー —ミャンマーの若者が、今日本で新しい価値を創り出す—



株式会社ジェイサット 代表取締役

西垣 充

まだまだ厳しいミャンマー国内の就職事情

ミャンマーは軍事政権から民政移管して8年、アメリカの経済制裁がとけて3年とまだまだ国としてスタートラインに立ったばかりです。労働局が発表した昨年1～9月度の国内就職者は16万人、一方で国外就職者が18万人と国外就職者が上回っており、国内での就職先が圧倒的に不足しています。

日本はミャンマーの若者にとって憧れの国

そのような状況の中、就職先として日本が非常に注目されています。大きな理由は二つあります。

一つ目は、特にヤンゴンで、目に見える形で日本のODAが人々の生活を支えている実情にあります。発電所、鉄道、工業団地、橋、コンドミニアムの入った複合施設などができ、人々が日々の生活の向上を直に感

じ、また、日本の技術の高さを見て、日本で技術を学びたいと日本企業で働くことを目指す若者が増えているのです。

二つ目は、日本とミャンマーの歴史的な繋がりで、戦前、日本が食糧難の時期、ミャンマーがコメを輸出しサポートしたり、戦後、日本軍の士官学校卒業生がミャンマー政府の主要な役職を歴任したりと両国の繋がりは深いのです。学校では、戦時中の日本との関わりを率直に子供たちに伝えています。良い話ばかりではありませんが、英国の統治下から日本がミャンマーを解放したこと、その後、日本の占領下に置かれたこと、戦後ミャンマーに残り地元のひとと協力関係を築いた日本兵の話など語り継がれています。

こうした積み重ねで、ミャンマーは他のアジア諸国と違う独特の「親日国」となり、日本が身近に感じられる国となっています。

若者の間で日本語ブーム

日本企業で働きたいという若者が増えたことで、ここ5年で日本語能力試験(JLPT)の受験者数が約9倍に増え、東南アジアではベトナムに次いで第2位まで浮上してきました。特に今年に入り、ミャンマーの地元メディアが、日本の法律が変わりミャンマーの人々が日本で働くチャンスがある、行きやすくなると報じ、日本語学習者が急増しています。

実は、ミャンマー語と日本語はほとんど文法が同じです。言葉の並びが日本語と同じなので、「あいうえお」からはじめても、6～8カ月で日常生活レベルの日本語をマスターできます。そのためか、考え方が日本人とよく似ており、「日本人以上に日本を感じる」とミャンマー人と働いている日本人が言うこともしばしばです。但し、漢字習得はとて

難しいようです。

来日する前に日本語を習得していると何が違う？

日本で働くには日本語が欠かせません。しかし、生活や仕事に慣れることで精一杯の来日当初、働きながら日本語を勉強する時間を確保するのは非常に困難です。ここで、日本に来る前に N 3 レベルの日本語と日本のビジネスマナーを学んできた人材を受け入れた企業の声をお伝えします。

車関連商品の輸出入、パソコンシステム開発の企業の声

入社直後の第一印象は、日本語が堪能であるということでした。日本人社員とのコミュニケーションに支障は全く無く、驚くべき語学力のレベルでした。業務に於いては、とにかく勤勉で、習得してもらいたい内容を短期間で覚えて、直ぐにでも実践で活躍出来そうな感じです。

直属の上司が、教育を含め仕事を教えていますが、彼自身が大きく成長しました。理由としては、日本に慣れない外国人の面倒を見るという事と、素朴な(全くすていない)ミャンマー人に対し、素直な気持ちで接する事ができるからだと考えています。弊社にとって、外国人の採用は初めての事で、社員全員にとって、外国人の入社は、海外を身近に感じながら仕事をする良い刺激になっていると確信しています。

船舶設計業務を行っている企業の声

2017 年度に初めて採用したミャンマー人材 2 名が設計した船舶が無事に進水しました。全てをミャンマー人材で設計したわけではありませんが、実務も行いながら、日本語での社内教育などを通して船舶設計の技術を学び、通常 3 年はかかる内容を入社 1 年で設計できるようになりました。期待以上の成果となった為、ミャンマー人材の底知れぬ能力に社員一同驚いています。3 年後に少し変わればよしとしていましたが、ミャンマー人材が仕事を覚えるのが早いので、今まで断っていた仕事ができるようになったり、ベテランが別の作業に集中できるようになったりと、1 年ほどで会社の売上や信用が大きく伸びました。

私は 20 年間ミャンマーで暮らしています。その経験から言えることは、ミャンマーに溶け込んで、いい仕事をしてより楽しんでるのは、ミャンマー語を話している日本人です。このことから、日本で働いてもらうため、いい仕事をしてもらうため、長くいてもらうため、楽しんでもらうためには日本語は必須だと思っています。日本語を習得していると、受け入れた企業にとっても新しい価値を創り出すことができます。ここで、日本に来て、いろいろなことに気付き、更に成長しているミャンマー人の声をお伝えします。

大阪で車の修理をしている

Ray Zaw Tun さん

日本に来る前は普通にお金を稼いで、いつか結婚をして、人生をシンプルに歩もうと考えていました。今大阪にいますが、大阪の街並みや公共施設、きっちり規則を守ること、社会福祉制度などを見て、私の故郷もこの町みたいに、日本みたいになつたらいいと思い始めました。

私はラカイン民族です。ラカイン州は経済、教育、交通等まだまだ発展するには時間がかかります。自分一人で国を立て直すことはできませんが、日本で得た技術、知識を地元の若者に広げていけばいいと考えました。それで、今まで思っていたシンプルな人生設計をやめ、一生を国の発展に捧げようと決心しました。

貿易会社で働いている

Chawi Hung Thang さん

日本では仕事は大変というより厳しいです。何かを任される時に、全て教えられず 5 つの方法があれば 3 つ教えられ、残りの 2 つは自分で考えるよう仕事が与えられます。

タイムマネジメントもよく勉強になります。今ある時間をどのように使ったのか、次もっと早くできるようにどうすれば良いか考えてしなければなりません。仕事内容にもよりますが、早く終わらせるより、正確で、間違いなく仕上げるのが大事です。早く終わらせてミスが出ればもっと時間がかかるので、日本人は正確でミスがないようにします。また、何か問題が起こった時にはまず、その問題の原因を探します。その後で解決方法を考えてすぐに改善します。機械に問題があるのか、やり方に問題があるのか、人

に問題があるのかを皆で考えて、改善していく方法がとてもいいと思います。

.....
 このように、ミャンマーの若者たちにとっても、生活や仕事から気付きを得、彼らの成長に繋がるのです。

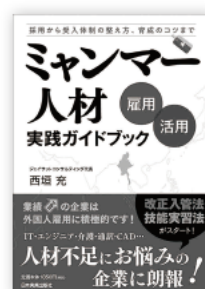
今日本が取り組まなければならないこと

日本は今後外国人材に頼らざるを得ない状況が続きます。その中で外国人材が日本で生活し働くためには日本語教育は必須です。問題点は日本語教師の不足です。弊社では、昨年 12 月にスリーエーネットワークと共催して日本語教師育成セミナーを開催しました。280 名のミャンマー人日本語教師が参加しましたが、N 2 以上が約 55 %、N 3 以下が約 27 % でした。N 4 で教えている日本語教師もいました。今、日本は外国人材受け入れ拡大を検討していますが、ミャンマーにとっては日本語教師の育成が一番重要だと感じています。日本語が来日前から習得できている外国人材を受け入れる、それが外国人にとっても、日本にとっても新たな価値を創出し双方にとって理想的な関係を築くことができると私は確信しています。

ミャンマーと日本の結びつきが新たな価値を生み出し、両国が発展していくことを心より願い、それに寄与すべく命ある限り、これからも自らの使命を全うしていきたいと考えております。

西垣 充 (にしがき みつる)

1996 年 船井総合研究所退職後、ミャンマーへ移住。
 1998 年ミャンマー専門コンサルティング会社 J-SAT (ジェイサット) を設立。
 企業のミャンマー進出支援、日本企業への人材支援、現地視察・取材等のコーディネーター等、ミャンマービジネスにおける日本の第一人者。
 近著に「ミャンマー人材(雇用活用)実践ガイドブック」(日本実業出版社)。



徳島の山里にたたずむサテライトオフィスから

日本で働くプログラマー、ピエッピョアウンさんに聞きました。

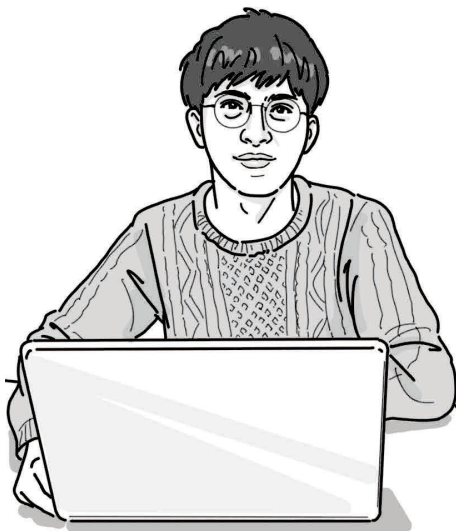
—日本と日本語に興味を持ったきっかけは何かですか。

2014年11月、マンダレーコンピューター大学3年生の時、JENESYS（21世紀東アジア青少年大交流計画）というプログラムに参加する機会があり、初めて日本にきました。徳島県で4日間ホームステイをし、東京で5日間過ごしました。ミャンマーのIT専攻の学生にとって日本のIT技術は憧れです。当時の私には、日本に留学することは経済的に難しかったのですが、そのプログラムへの参加がきっかけで、日本で働きながらIT技術を身につけるという目標を持つようになりました。

このプログラムに参加してわかったことが二つありました。一つは、日本で働くために一番大切なことは「日本語を身につける」ことです。日本語が使えないと日本人と上手くコミュニケーションが取れません。もう一つは、日本人の「心」です。おもてなし、気配り、丁寧な話し方がとても印象的で更に興味を持つようになりました。

—今の会社に就職しようと思った理由は何かですか。

大学4年生の時、ミャンマーから日本に人材紹介をしている会社J-SATによる日本語講座が大学で開講しました。その日本語講座で勉強し、J-SATを通して日本のプログラム開発会社の面接を受けるチャンスを得ました。この会社の支社が、私が3年生の時にホームステイした徳島県にあり、ぜひこの会社で働きたいと思い、就職することができました。実は、ホームステイ先のご家族がプログラマーで、日本のITについてお話を伺っていたのです。「徳島」と「IT」の縁で私の目標への第一歩を踏み出すことができました。



ピエッピョアウンさん

1996年、ミャンマーの中部マグウェイ地域にあるブニョ村で生まれ育つ。

2018年2月、ミャンマーのマンダレーコンピューター大学卒業。

2018年6月、株式会社ジェニオ四国支店（三好ラボ）にプログラム開発エンジニアとして入社。

現在ウェブ開発、アプリ開発をしている。

—日本で実際に働いてみてどうですか。

勤務地の徳島県三好市は穏やかで自然に囲まれ、とても美しいところなので気に入っています。

日本語に関しては、来日前から、企業の方とメールやスカイプで文章の書き方や話し方の練習をしていたので、来日後もコミュニケーションは問題なく取れました。インド人の先輩社員が基本的なプログラミングについて指導してくださり、わかりやすい日本語で説明してくれるので問題はありません。現在、外国人社員は私を含めてミャンマー人2名、インド人2名です。ときどき、日本・インド・ミャンマーの料理の交流会があり、当番になったら国の料理を作ったりするのですが、社員の皆が外国人を受け入れてく

れる環境なのでとても居心地が良いです。家族と離れて寂しい気持ちもありましたが、会社の先輩たちのおかげで地域にも早く溶け込むことができて充実した日々を過ごしています。

日本語の問題としては、「敬語」「丁寧語」「謙譲語」の使い方です。慣れなくて、先輩たちに何度も直してもらいながら勉強しています。ビジネス日本語がもっと身につくように頑張ろうと思っています。

—6カ月日本で働いてみて、今の目標を教えてください。

お客様の満足度を高めるという考え方と、小さなことでもミスしないよう注意を払って仕事をする働き方が素晴らしいと思います。日本の会社で働くからには、そういった良い部分を身につけて優秀な社員を目指し、日本のIT業界に貢献したいと思っています。また、将来ミャンマーに戻ったら、若い世代に日本の技術を教えていきたいと考えています。

—日本で就職希望の後輩たちに一言お願いします。

「日本語」をしっかり学んでください。日本で生活をして仕事をする、ある程度ストレスやホームシックを感じると思います。それを乗り越えるためには、周りの日本人との温かい関係を自分から作り上げる必要があります。仕事、人間関係、生活等、全てに日本語がかかわってくるので、日本語を身につけることはとても大切です。日本語を通して日本人を理解したら、もっと学ぶことが広がり、仕事も楽しめます。

最後に、私がどのようにストレスを解消しているかを、日本で働くミャンマー人の為のウェブサイトjsatnavi.jpに投稿しましたので是非読んでみてください。



国内編

滋賀県 彦根市



外国人介護技能実習生対象の日本語指導

元大学客員准教授

日本語・英語教師 富川和代

「入国後講習」と受け入れ施設の日本語指導

昨年夏、外国人技能実習生受入事業を行っている「協同組合ビジネス21」から介護技能実習生の「入国後講習」の中の日本語指導を依頼された。滋賀県内では初の介護技能実習生10名を市内の「社会福祉法人近江ふるさと会 近江ふるさと園」が受け入れることになった。

「入国後講習」終了直後、受け入れ先「近江ふるさと会」より、引き続き、介護技能実習生の日本語指導を依頼された。

介護技能実習生について

中国出身の介護技能実習生10名(男性2名・女性8名)は、市民登録、オリエンテーションなどを経て、日本語学習に入った。1日7時間で18日間、合計126時間。それぞれの日本語学習歴は、独学10年(N1)、大学の日本語学科卒業(N2)、大学でビジネス日本語専攻(N2)、日本語専門学校(N1)、介護士専門学校(N3)、元看護師(N3)など多様である。クラスでは、N3の6名中4名が、クラスメートに通訳を頼る場面が見られるなど、10名は日本で初めて会ったにもかかわらず、すでに和気あいあいとしていて、男性2名(N1・N2)と女性2名(N1・N2)が控えめにリーダーシップをとり、全員をうまくまとめていた。

「入国後講習」での日本語指導の概略

「協同組合ビジネス21」作成の「講習実施予定表」で示された学習内容は、「オリエンテーション・作文・読解・総合日本語・文字・会話・介護の日本語」である。

私は、仕事とボランティアで日本語を指導してきたが、介護職技能実習生は初めて



滋賀県初の中国人
介護技能実習生

だった。ただ、100歳の義理の母が施設に4年間お世話になっているので、介護の日本語教科書もわかるころはあった。「介護の言葉」と「介護場面での会話」の内容の教科書を複数使用。それぞれの特長があり役立った。専門用語は漢字の熟語が多く中国語話者は有利だが、そのまま利用者やその家族に使用してもわかりやすい日本語に直さなければ理解できないため、中国語話者でも負担が大きい。会話では、CDやDVDのドラマを使用し、介護場面でのロールプレイも取り入れた。聴解の教科書には、街中での生の会話を録音したもの(N1、N2レベル)と、日常生活での「生に近い」会話(N2、N3レベル)の2冊を使用。「日本語能力試験(JLPT)」の聴解に比べ、どちらもやや難しく感じたようだ。

また、日本・日本文化・日本人などについて理解を深める教科書(中上級)も使い、読解の学習後、自分の意見を原稿として書き、話し合った。

ウォーミングアップ・クーリングダウンには、敬語・外来語・方言・オノマトペを取り上げた。日本語学習者は外来語(カタカナ語)が苦手であるが、今回も日常生活、介護場面で使われる外来語(ストレッチ・トランスファーなど)を、発音に気を付けて指導した。また、「彦根方言」を扱っている本を2冊使い、「あかん・行かへん」など、街中

で聞く方言を取り上げ、アクセントを紹介。実習では教科書にない表現に接するようで、ショートカットの女性が若い男の子と認識されたのか、「はく、はく」と呼ばれたと、みんなで大喜びしていた。

受け入れ施設の日本語指導

10名中N3合格者6名が対象。今年7月の「日本語能力試験(JLPT)N2」の受験対策が中心となる。6名は笑顔で来室し、元氣よく職場に戻る。「N2」に合格すると夜勤ができ、給料がよくなることも学習意欲を高めているようだ。最初、「N3」と「N2」の模擬試験を実施し、自分の苦手な分野を確認させた。模擬試験の自己採点后、選択肢に使われている語彙・表現も正しく使えるよう、短文を作らせるなど定着を図っている。「介護の言葉」と「介護場面での会話」の学習も継続しているが、実習開始後、入浴・おむつ交換・食事・排泄など介助する時のコミュニケーションの取り方、職員との連絡など仕事上で使う日本語、彦根の歴史・文化・方言などが必要だと再認識したようだ。

1月末には「彦根市日中友好協会」主催の「春節迎新会」に参加し、中国料理を満喫したと喜んでいましたが、仕事上の日本語はもちろん、買い物に必要な日本語など「休日の日本語」も上手になりたいようである。



海外編

ミャンマー ヤンゴン



日本で働く力をつける教育

J-SAT Academy

代表 西垣 充

J-SAT Academy 設立への思い

20年以上にわたるミャンマーでの経営およびコンサルティングの経験から、ミャンマーの若者が日本で働くことが、ミャンマーの発展に寄与すると感じ、彼ら、彼女らの夢や希望を実現するためには、どんな力が必要かを徹底検証。日本で働くための力をつけることに特化した全く新しい学校を設立するに至りました。



クラス結束のため行われる交流会

本校への入学まで

本校は、大学卒業後、日本での就職を希望する人を対象とした日本語学校です。日本語能力試験に合格するためだけの日本語を教えるのではなく、生活し働くために必要な日本語を教えています。書類選考から入学までに合計7回の書類選考や面接を行い、日本での就労・生活に向いているか否かといった観点からのスクリーニングを行います。

本校で学ぶ若者たち

ミャンマーでは、裕福な者だけが大学に行けるとイメージされるかもしれませんが、実情はそうではありません。勿論、家庭の事情で学校に通えない子ども達もいますが、家族や親族が一丸となって大学まで行かせるケースが多々あります。ミャンマーの大学

進学率は約8%ですが、多くの大学生は家族の思いを背負い、将来家族を支えることを目標に勉学に励みます。本校に入学するためには、その8%から約20倍の倍率をくぐり抜けなければなりません。彼らは日本で働いて更に力をつけ、自分たちの夢や希望を達成するという平坦ではない道のりを今後歩いていかなければならないのです。

本校のクラス運営・教育方針

入学後は10カ月間フルタイムで月曜日から金曜日、9時から15時までの5コマ、総授業時間数として約1000時間日本語を教えます。補習が必要と思われる者には、1日に1時間の補習を行います。基本的に「あいうえお」から学習を始め、日本語能力試験のN3レベルを目指しますが、最終的には日本語での指示を理解し、ビジネスマナーを身につけ、日本人とコミュニケーションが取れる日本語力の習得を目指しています。



おそろいのTシャツで授業にのぞむ生徒達

10カ月の中でのスクリーニング

定期テストを毎月行っています。定期テストに合格しない場合は、下のクラスに落ち、それが続くと退学措置をとるなど厳しい対応をしています。それと同時にこの10カ月間の授業を通して、日本での生活に適應できるかどうかを見極めるというのも一つの目的としています。日本語力が伸びないと、日

本に行っても生活面や職場で馴染めず、仕事をやめたい、ミャンマーに帰りたいという気持ちにつながってしまうからです。

本校のルール

学校では日本での勤務を想定したルールがあります。①遅刻した時はすぐに先生のところへ行ってあやまる、②舌打ちはしない、③先生から注意されたことはメモをする、④絶対に言い訳をしない、などの規則を厳守するよう生徒たちに伝えています。ミャンマーにはないルールに慣れるまで大変そうですが、日本で就職した時に、学校でのルールは日本での常識だと気づき、事前に教わっていてよかったという声を卒業生からよく聞きます。

J-SAT Academy 式の人材教育

私たちの学校運営に大切なことは、良い人材×良い教育×良い会社と考えています。良い人材であれば、良い教育が生きてきます。良い教育が身につくと良い会社、つまり外国人を安い賃金で働かせるのではなく、きちんと戦力として捉えて雇用する日本の企業を紹介できます。すると、そのような企業で働きたい、良い人材が集まってきます。この3つの相互関係を特に大切にしています。

我々の使命

私たちの日本語学校は、今が完成形ではありません。実際、生徒を厳選し、日本語やビジネスマナーの教育をしても、日本で働き始めると様々な問題が起きます。その問題を必ずフィードバックし、ミャンマーの優秀な若者たちが、彼らの力が発揮できる環境を提供できるよう学校を改善し続けています。現状にとどまることなく発展途上の学校として、常にミャンマーの若者に対して理想的な日本語学校になることを目指しています。

教材紹介

『中学生のにほんご 学校生活編 —外国につながるのある生徒のための日本語—』

庵功雄 監修 志村ゆかり 編著

志賀玲子・武一美・永田晶子・樋口万喜子・宮部真由美・頼田敦子 著

B5判 224頁 別冊72頁(予定) 2,000円+税 5月発売予定

中学生が接触する場面を考え、彼らの目線で作った日本語総合教科書

関西学院大学日本語教育センター 日本語常勤講師 志村ゆかり

最近、日本に住む外国人が増えています。それに伴って、日本の学校に通う外国につながるのある子どもたちも増えています。ところが、そうした子どもたちが日本語を学ぶための教材に、中学生を対象としたものは、あまりありません。そこで、中学校で学ぶ外国につながるのある子どもたちのために作成したのが、この『中学生のにほんご』です。この教材はシリーズになっていて、この学校生活編(1段階)に続けて、社会生活編(2段階)と教科編(3段階)の出版を予定しています。

教材を執筆したメンバーは、公立の小・中・高等学校で日本語指導を行ってきた指導者及び教師、日本語学校の教師、大学で日本語教育を専門とする教師で構成し、日本語教育のあらゆる側面からの知恵を出し合って作成しました。

学習対象者と教材のねらい

『中学生のにほんご』と銘打っていますが、同じ中学年齢期の子どもでも日本語の力は様々な事情で大きく違います。この「学校生活編」では、そうした子どもたちのうち、日本語を始めたばかりの中学生を、主な対象にしています。場面は、外国につながるのある子どもが日本(横浜)の中学校に編入したところから始まり、卒業するまでのストーリーになっています。そこには、日本語力をつけていくとともに、日本の中学校の文化習慣も知ってもらおうというねらいがあります。

また、来日歴が長く、日本語力もある程度あると判断される子どもにも、基礎的な日本語力がついていないかどうかを確かめるために、この教材を使っていただければと思います。もしこの教材の中で知らない日本語の表現や文法があったり、不確かな点(語の活用など)があったりしたら、その点を補ってください。本シリーズは、段階順に日本語のレベルが上がっていくように設計されていますので、1段階目の「学校生活編」で基礎力をしっかり身につけてもらいたいと思います。

教材の特徴と構成

この教材は、生徒が自分で理解できるように文法説明や導入の方法を工夫してあります。極力やさしい日本語を使用し、イラストや図式で示しました。

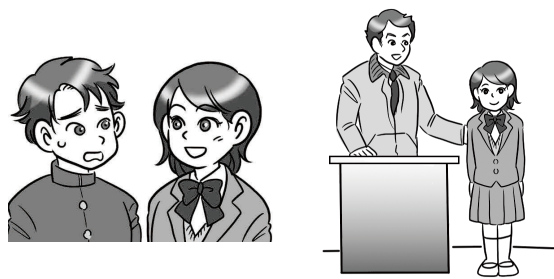
また、言語習得は文脈の中で行われるという言語観に立って、生徒がひとりでも学習を進められるよう、教材の登場人物と対話する形式での練習を中心に日本語を学びます。なお、ここでいう文脈とは、対話する相手とのやりとり、書いてある文章、自分との対話(自己表現)を言います。

構成は、本文会話→文型導入→文型練習→自由会話→読み物(漢字練習を含む)→作文→新しいことばの練習、という流れになっています。

なお、文脈重視で構成を組んでいるため、品詞の活用や語を覚えるといったドリル的な練習は、別途web教材としてスリーエーネットワークのウェブサイトで提供します。また、活用練習をする際の活用のルールや、その課の新出語の補足資料、及び新出語リストは、本冊とセットになっている別冊に掲載されています。

最後に、この教材は、子どもたちの「推測する力」を利用して日本語を学ぶように作られています。そのため、自然と子どもたちの「考える力」が養われます。子どもたちの「推測する力」というのは、私たちが考える以上に大きなものです。普段から支援の場で彼らと接し、また、この教材を国際教室で試用して感じてきたことですが、子どもたちは、生まれながらに「学ぶ力」を持ち、「考える」ことに喜びを見いだします。与えられたことより、自分で推測し、考え、答えを導き出すことを好みます。私たちはそういった視点を大切にしながら、教材を作ってきました。この「学校生活編」に続く、「社会生活編」、「教科編」でも、この視点を重視しています。

このシリーズでは、彼らに身近な日本社会、日本文化、異文化、一般教養、各教科の内容という文脈の中で日本語を学んでいきます。「学校生活編」では、その1段階目として、登場人物との対話を楽しみながら、子どもたちに日本語を学んでもらいたいと思います。



『改訂版 分野別カタカナ語彙トレーニング』

島野節子・世良明美・辻野裕子・妻形ひさみ・永見洋子・山岡園枝 著
B5判 180頁+22頁(予定) 1,300円+税 5月発売予定



段階別の練習でカタカナ語をマスター

亜細亜友之会外語学院講師 山岡園枝

カタカナ語は日本語の語彙の中で増え続け、英語など元の言語とも違う独自の発音や表記、用法などがあるため、学習者にとっては覚えにくいものです。本書はその日本語独自の使い方を含めて、カタカナ語をマスターするための教材です。初級レベルを終えたすべての学習者を対象としています。

各課の構成

各課は例文と練習問題で構成されています。学習するカタカナ語は日本語の中級及び上級テキスト、問題集、新聞記事などから選び、よく使われる意味に絞って取り上げました。同じ1つのカタカナ語で

も違う意味用法があるものについては、分けて項目立てをし、それぞれに練習問題を設けています。練習問題は「ステップⅠ・ステップⅡ・まとめ問題A・まとめ問題B・総合問題」と段階別に、繰り返し練習することで覚えられるよう工夫されています。練習問題は少しずつレベルアップしていますので、独習用としても使えます。授業で使用する場合は、学習者の理解度に合わせて問題の一部を宿題やテストとしてもよいでしょう。

本書の特長

各課は分野別にまとまっているので、学習者のニーズに合わせて、どの課からでも始めることができます。今回の改訂ではIT・環境分野の課を新しく設けました。日本語能力試験、日本留学試験の受験準備としても役立ちます。

『新完全マスター単語 日本語能力試験』確認テストと学習コンテンツのご案内

『新完全マスター単語 日本語能力試験 N2 重要 2200 語』

本体 1,600円+税 英語・中国語・ベトナム語訳付き

『新完全マスター単語 日本語能力試験 N3 重要 1800 語』

本体 1,600円+税 英語・ベトナム語訳付き

中級レベルで必要な単語を品詞やカテゴリごとに配列し、よく使われる複合語、派生語などの関連語もあわせて学習できる単語帳。約200語ごとに読み物のページがあり、学習した単語が文章の中でどのくらい理解できるかを確認できます。

●『N2』『N3』確認テスト

本書をご採用の教育機関の方々を対象に、単語をカテゴリごとに30～50語程度に分けた51回分の確認テストをご用意しました。

●学習コンテンツ

全ての見出し語と読み物の音声が無料で聞けます。

N2：アプリ

チェックボックス機能を使って、覚えていない単語だけを繰り返し確認できます。このたび、見出し語と読み物の翻訳(英語、中国語、ベトナム語)を表示させることができるようになりました。(アプリ内課金 各言語 360円)

N2：アプリ
画面例



N3：ウェブサイト

見出し語と翻訳(英語、ベトナム語)を表示させながら、音声を確認できます。

確認テストのお申込み・学習コンテンツの詳細はウェブサイトをご覧ください。

N2: <https://www.3anet.co.jp/np/books/3663/>

N3: <https://www.3anet.co.jp/np/books/3664/>





なんでも情報 BOX

Books ほん

すべて本体価格です

改訂版 分野別カタカナ語彙トレーニング

1,300 円 5月発行予定

中学生のほんご 学校生活編

—外国につながるのある生徒のための日本語—

2,000 円 5月発行予定

読者アンケートにご協力ください—— 『みんなの日本語』グッズを抽選でプレゼント

いつも Ja-Net をご愛読いただき、誠にありがとうございます。今後の誌面作りの参考にさせていただくため、読者アンケートを実施します。アンケートに、**すべて**ご回答いただいた方の中から、抽選で 50 名の方に「ミラーさんスタンプ」と「『みんなの日本語 初級 本冊』そっくりメモ帳（文庫サイズ）」をプレゼントします。

ご意見・ご要望をぜひお寄せください。

【締切】

2019 年 5 月 31 日（金）23:59

【アンケート内容】……………

Q1. 好きなコーナーを一つ教えてください。

① 巻頭記事 ② 学習者の目 ③ あちこち日本語ご紹介（国内編）④ あちこち日本語ご紹介（海外編）⑤ 教材紹介 ⑥ なんでも情報 BOX

Q2. Q1 で選んだ回答の理由を教えてください。

Q3. 今後、記事で取り上げてほしい内容があれば、教えてください。（複数選択可）

① 日本語教育の専門的な内容 ② 教材の具体的な使い方 ③ 授業づくりのアドバイス ④ 日本語教師の授業アイデア投稿 ⑤ 学習者の作文投稿 ⑥ その他（自由記述）

Q4. Ja-Net について、ご意見・ご要望などお聞かせください。

例：文字量が多い。文字の大きさが小さい。

Q5. 日本語を教えている場所はどこですか。

① 日本語学校 ② 専門学校 ③ 大学
④ 地域日本語教室 ⑤ 小中学校・高校

⑥ 企業・団体 ⑦ 技能実習生受入協同組合 ⑧ その他

Q6. 年代を教えてください。

① 10～20 代 ② 30 代 ③ 40 代
④ 50 代 ⑤ 60 代 ⑥ 70 代 ⑦ 80 代以上

【アンケート回答先】……………

●ウェブサイト

[https://www.3anet.co.jp/np/](https://www.3anet.co.jp/np/books/9896/)
[books/9896/](https://www.3anet.co.jp/np/books/9896/)


●FAX・ハガキ

上記アンケートに回答の上、お名前、ご住所、お電話番号とあわせて、Ja-Net 編集室（本頁右下の連絡先）までお送りください。

【当選の発表ならびに個人情報の取り扱いに関して】

プレゼントの当選案内は 6 月中に当選者のみにお送りいたします。また、当選案内の連絡がつかない場合、当選は無効となります。応募していただいた方の個人情報は、プレゼント発送以外の目的には使用いたしません。

Seminars

セミナー

『中級を学ぼう 日本語の文型と表現 56 中級前期 第 2 版』改訂のポイントと具体的な指導の方法（東京 第 2 回）

講師：平井悦子、三輪さち子（『中級へ行こう』『中級を学ぼう』シリーズ著者）

日時：6 月 22 日（土）14:00-16:00（受付開始 13:30）

会場：弘済会館 4F 会議室「蘭」

（東京都千代田区麹町 5-1）

対象：日本語学校、専門学校、大学で日本語を教えている方

定員：90 名

参加費：無料

主催：スリーエーネットワーク

N3 レベルを目指すための初級後半から行う「読解」のポイント

講師：田代ひとみ（東京外国語大学 留学生日本語教育センター 非常勤講師）

日時：8 月 3 日（土）14:00-16:00（受付開始 13:30）

会場：愛日会館 2 階イベントホール

（大阪府大阪市中央区本町 4-7-11）

対象：日本語学校、専門学校、大学で日本語を教えている方

定員：80 名

参加費：無料

主催：スリーエーネットワーク

申込み 5 月 8 日（水）10 時より受付開始

【ウェブサイト】

<https://www.3anet.co.jp/np/list-info.html>

【ハガキ・FAX】スリーエーネットワーク講座係

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-4

トラステイ麹町ビル 2F FAX: 03-5275-2729

お申込みの際はセミナー名・お名前・ご所属・お電話番号・日本語教授歴を明記してください。

※メール・電話での申込みはお受けできません。

ウェブサイトからお申込みいただく自動返信メールが届きます。メールが届かない場合は、受付が完了できていないため、再度お申込みください。ハガキ、FAX の場合、3 営業日以内に受付の連絡がないときは講座係までご連絡ください。

問合せ

スリーエーネットワーク講座係

TEL: 03-5275-2722

Ja-Net

No. 89

季刊ジャネット

スリーエーネットワークという社名は、アジア（Asia）、アフリカ（Africa）、ラテン・アメリカ（Latin America）の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2019 年 4 月 25 日発行

●発行人 藤崎政子

●発行所 （株）スリーエーネットワーク

Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-4

トラステイ麹町ビル 2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: sales@3anet.co.jp

<https://www.3anet.co.jp/>

●印刷 （株）ワコー

© 2019 by 3A Corporation Printed in Japan
（禁無断転載）

●『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。『Ja-Net』第 90 号は 2019 年 7 月 25 日発行予定です。